

## Bangladesh派遣 岩本直美ワーカー 活動報告会 ~ 弱さがつむぐいのちの物語 ~

日本キリスト教海外医療協力会 (JOCS) は、1960年に活動をはじめた日本で最初の NGO です。すべての人々の健康といのちがまもられる世界をめざして、キリストの愛の精神に基づいて、アジア・アフリカの国々で保健医療協力を行っています。

看護師の岩本直美ワーカーは、2008年から Bangladesh北部マイメンシン県のラルシュ・マイメンシン・コミュニティ (\*) で共同体のリーダーを務めています。障がいのあるなしや民族や宗教などの違いをこえて支えあい、救しあいながら生活する共同体を築き上げてきました。近年は、共同体が地域に根づくことを目指して、将来を担う若者たちの育成や地元の支援者との連帯、自前の土地・施設の整備に力を注いできました。



**主催: JOCS町田カトリック**

**日時: 9月8日(日)第2ミサ後、11時45分~12時30分**

**場所: カトリック町田教会聖堂**

**親睦会(昼食をとりながら)**

**於 ホール第1会議室**

**各自カレーを持参の上、お集まり下さい。**

\*ジャン・バニエによってフランスで始められたラルシュ・コミュニティは、現在 38 か国に 150 以上のコミュニティに広がっています。 Bangladeshのラルシュ・マイメンシンは、2002年に超教派の男子修道会テゼ共同体のブラザー・フランクによって始められました。知的障がいや精神障がいのある家族のいないメンバーたちからなり、宗教的、民族的な多様性の上に築かれている点で、世界のラルシュのなかでも際立つ存在となっています。

### 岩本直美ワーカー プロフィール

1963年滋賀県生まれ。1985年大津赤十字看護専門学校卒業後、地元の病院や福祉施設で障がい児療育に携わる。1993年 JOCS ワーカーとして Bangladesh・ボグラ県で第1期をスタートする。ロンドン大学地域主導型リハビリテーション修士号取得後、1997年に Bangladesh・マイメンシン県に再赴任し、現在に至る。カトリック麹町聖イグナチオ教会所属。

